

「研究・防災棟」の紹介

副課長 和泉 安洋

Keyword ; 防災・研究棟, 避難の手引き

水産研究課（美波庁舎）は海部郡美波町の大浜海岸にあり、太平洋に面し海が開けた景色のよさから観光客が多いところです。他方「南海トラフ巨大地震」の発生が危惧されており、庁舎周辺は津波発生時に短時間で高台への避難が困難な地域となっています。

このような地域の方々や観光客の命をお守りするため、平成 29 年 3 月に、平時は水産研究を行い、発災時に津波避難所となる「防災・研究棟」を整備しました。

耐震性・耐津波性を持つ 3 階建ての構造で、屋上の標高は 18 m、面積は 335 m² あり、津波避難所として十分な高さと面積を備えています。

外階段から屋上へ避難し、津波終息後は 3 階の非常口から棟内へ入り待機できますし、棟内には美波町が準備した非常食や毛布などを備蓄しています(避難手引き参照)。また、徳島科学技術高校の生徒さんとともに、地元水産物をレトルト加工した非常食の作成に取り組んでいます。

さて、防災の基本は「自助」であり、まずは自分で自分を守ることにより家族や友人を助ける「共助」につながると言われています。「公助」だけでは限界がございますので、避難グッズなど日頃からの備えをお願いいたします。

我々といたしましても、地域の方々と連携し、リスクに関する様々な情報を共有し合うこと、いわゆるリスク・コミュニケーションが大切であると考えており、平成 29 年 11 月には美波町主催の防災訓練に参加し、住民の方々を「研究・防災棟」に御案内するとともに、防災に関する御意見を伺わせていただいたところです。

今後とも、地元の方々と連携し、防災に強い地域作りに貢献して参ります。



写真 1. 研究防災棟(左)と平成29年11月に行われた防災訓練(屋上) (右)

水産研究課 研究防災棟 避難の手引き

1 避難経路

(1) 庁内入口(下記の3カ所、開門して進入ください)



庁舎南側入口



庁舎西側入口



庁舎東側入口
(ボードを蹴破って進入)

(2) 避難場所への階段入口

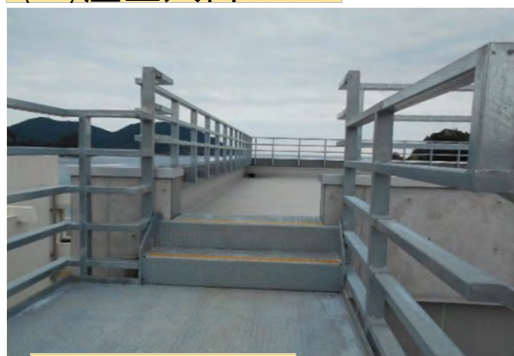


ロープをはずして階段進入



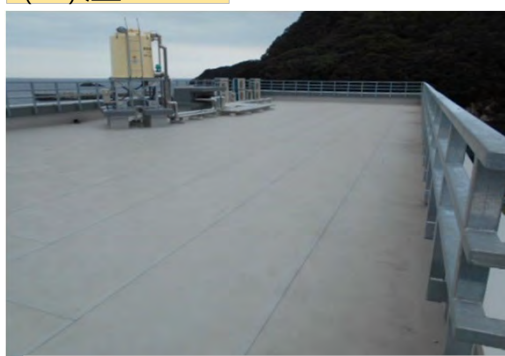
屋上へ

(3) 屋上入口



段差注意

(4) 屋上



津波終息まで屋上で待機

2 庁舎内待機

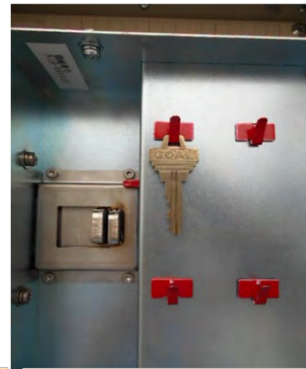
(1) 庁舎内進入



3階外階段入口



入口左側の防災BOX
震度5以上で解錠



BOX内
入口ドアカギ

(2) 防災用品



3階 防災用品(美波町準備)
(水、レトルト食品、毛布)

数量に限りあります。
みんなで、
話し合って、
ご利用ください。

(3) 待機用の部屋



3階サテライト研究室



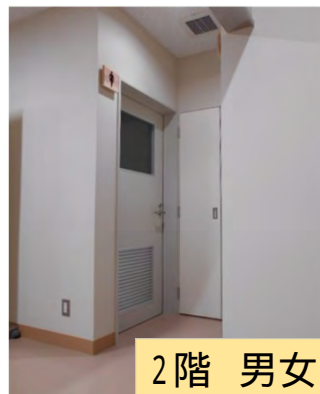
炊事施設

- ・貯水槽有り
- ・自家発電機作動

節電、節水を。



2階 6次産業化研究室



2階 男女トイレ